



企業倫理性と正しい企業サイクル

令和7年12月12日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

健全性という企業経営は、高い企業倫理性が健全な企業サイクルを構築し、健全な結果を生むことである。

これらは経営者の高い意識とビジョンが企業を実現することなのである。

これら意識が社員の共有性として企業経営を優れたものとするのである。

経営の卓越したビジョンは、その現実と時代への正しい理解において実現する。

これらが企業経営を優れたものとして、その結果を求めることができるのである。

これら優れた企業風土の育成は、必ず高い企業倫理性において実現するものである。

これらを明示し、共有することは、高いステージへの参加を得るものであり、時代という現実に対しても企業がその自己を実現できるのである。

これらは、高い意識は、優れた現実を与えるものであり、結果は必ず原因を求めるものです。

これらは個々の企業の現実を見直し、それらが新しい結果を生むことを理解することで、自己現実の改善において結果を実現できるものであると考えます。

これらは企業経営における方針や理念が、新たな現実を実現できることであり、現実への優れた理解は必ず結果を生むことができます。

これらは理解が現実と等しいという理解は正しいものであり、経営における高い意識や理解が企業の現実を決定するものであると考えます。

これらが一つ一つ企業環境を慶全することが新たな結果を与えることという理解において企業がその未来を模索できるものなのです。